

平成31年度 関西学研医療福祉学院 学校関係者評価

令和2年6月8日実施

※ 平成31年度 自己点検自己評価(平成31年4月1日～令和2年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	実施・検討事項	学校評価
			優れている・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 改善が必要・・・1
1 育成人材像 ・目的 ・教育理念	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	本学院は平成10年の開校以来、ヒューマニズムを核として専門分野における社会貢献、実践力を身につけた人材の育成を目的に掲げて学校運営を行っており、この理念に沿って教職員一同行動した。	4.0
	1-2 学校の特色は何か	福祉・リハビリテーション・看護分野の5学科が揃う本校は、チーム医療に必要な豊富な「知識」、高度な専門「技術」とともに、豊かな「人間性」をそなえた福祉・医療のスペシャリストを育てています。	4.0
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	日々進歩する医療・福祉業界の変化に対応する教育環境を整え、専門学校生として能力を発揮できる人材を輩出することを使命と考えており、教職員一丸となって日々行動した。	3.8
2 学校運営	2-1 運営方針は定められているか	毎期ごとに運営計画を定め、教職員に周知徹底を図っており、月一回開催の教職員会議等を通じて教職員に徹底した。	3.5
	2-2 事業計画は定められているか	外部・内部環境の変化に対応すべく期首に検討し、教職員には月一回開催の教職員会議等を通じて徹底するよう努めた。	3.8
	2-3 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	組織図に基づき、学校全体・学科毎の体制が明確にされており、運営会議等にて重要事項に関する意思決定は速やかに行われ、各学科にても学科長のもとスムーズに行われた。今後もスムーズな意思決定の運営を目指す。	3.6
	2-4 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	就業規則にのっとり公正な人事考課を行っている。今後も公正な評価を続ける。	3.7
	2-5 意思決定システムは確立されているか	学院長・事務長等の学校幹部出席の教職員会議等にて意思決定を図っており、教職員会議等にて協議・決定がなされた。	3.3
	2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	業務の効率化は常に改善することが大事と考えており、コンピューターシステムのバージョンアップ等で改善を図った。またセキュリティも強化した。	3.4

3 教育活動	3-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか	医療・福祉の業界ニーズを常に把握し、要望に合った人材の育成を目指しており、実習先の意見・教員の情報等に基づき学生の指導にあたった。	3.4
	3-2 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	全学科とも学生便覧に学年毎の教育課程の履修時間数が明記されており、シラバスに沿って学生に説明を行った。	3.5
	3-3 カリキュラムは体系的に編成されているか	厚生労働省指定規則に則って編成しており、厚生労働省指定規則通りに確実に遂行された。	3.6
	3-4 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	専門知識の取得を図るとともに国家試験合格に向けた内容になっており、各学科教員は高い意識のもと学生の指導にあたった。	3.5
	3-5 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	入学前授業から始まり、在学中の実践力養成及び卒業後の研究指導まで行っており、各学科、全教員積極的に指導を行った。	3.6
	3-6 授業評価の実施・評価体制はあるか	授業評価は定期的には行われていない。今後は定期的に行われるよう努力目標とする。	2.9
	3-7 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	専任教員全員が専門知識に加え教育指導者としての資質を備えているが、教員養成講座の受講、臨床研修等を通じて資質の向上に継続的に努めている。	3.3
	3-8 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則に明記されている通りに、試験等を行い評価し、判定会議において可否を判定している。今後も適正な評価を続ける。	3.5
	3-9 資格取得の指導体制はあるか	国家試験対策等は各学科毎ではあるが、個別指導等を行い学生指導にあたった。国家試験100%合格を目指す。	3.9
4 教育成果	4-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	31年度も全学科、就職希望者は希望の分野に全員就職でき、就職率100%を達成できた。今後も100%を目指す。	4.0
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	国家試験対策は各学科毎に、個別指導・模擬試験の実施等で合格率の向上を目指しており、介護福祉・理学療法学科は100%合格。作業療法学科は94.2%と大幅な改善(前年度76.9%)がみられ、言語聴覚学科は97.2%と4学科が全国平均を上回ったが、看護学科は残念ながら86.8%と前年度を下回った。	3.8
	4-3 退学率の低減が図られているか	開校以来、中退者ゼロを目指している。介護福祉は中退者ゼロ(前年度5.8%)、理学療法7.3%(同12.3%)、看護1.6%(同2.5%)と3学科で改善された。しかし作業療法5.2%(同5.1%)・言語聴覚5.1%(同1.2%)は中退者が増え、引き続き重要課題となった。	3.0
	4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	同窓会の開催時の情報交換、事例研究会、卒業後の勉強会等を通して、卒業生等の活躍の把握に努めている。	2.8

5 学生支援	5-1 就職に関する体制は整備されているか	就職センターを中心に、求人票の送付、本学院に病院・施設の採用担当者を招いての就職説明会を開催している。	4.0
	5-2 学生相談に関する体制は整備されているか	学生相談室を設置して学生の個別相談に応じている。将来的により充実させたい。	3.6
	5-3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	専任の学費アドバイザーが常駐し個別のケースに応じた対策を学生に提供しており、独自の奨学金制度もある。	3.4
	5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	毎年4月に健康診断を実施しており、提携病院等の協力もあり学生の健康管理には万全を期している。	4.0
	5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	地域・施設からの支援要望のポスター等を掲示して学生の支援協力を促している。	2.7
	5-6 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	学生寮は所有していないが、一人暮らしをする学生のための提携寮はあり、また近隣の不動産業者とも提携し学生の要望に応えている。学生寮の所有計画は現時点ではない。また、遠方入学者に対し経済的支援を行っている(遠方入学者支援制度)	3.2
	5-7 保護者と適切に連携しているか	各学科毎に、欠席が3～4日続くと保護者には電話連絡を入れており、また学科長・担当教員が保護者・学生との三者面談を随時行っており、きめ細かく対応している。(時には事務局も加わって対応している)	3.6
	5-8 卒業生への支援体制はあるか	再就職支援、勉強会、研究発表会の論文指導等を行っている。	3.1
6 教育環境	6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	厚生労働省養成基準に則り、医療・福祉機器を設備し、教材等も装備している。ただし、新鋭機器を常に導入という状況ではない。(順次入れ替えてはいるが)	3.2
	6-2 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	学外実習は厚生労働省の定める時間数はクリアしており実習先の指導者とも密に連携をとっている。海外研修については、作業療法・介護福祉学科が毎年実施している。	3.1
	6-3 防災に対する体制は整備されているか	緊急時の連絡表を作成して備えており、防災訓練も定期的に行っている。	3.8

7 受 け 生 入 の 募 集 と	7-1 学生募集活動は、適正に行われているか	募集要項に記載した試験日、出願日を遵守しており、オープンキャンパス及び保護者説明会の参加者へは本学院の実態を正確に伝えている。	3.8
	7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	国家試験合格率・就職率等については正確な数字を伝えている。	3.3
	7-3 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入試判定は、学院長・事務長・学科長及び面接担当者が参加して、成績に基づいて公正に判定している。	3.6
	7-4 学納金は妥当なものとなっているか	妥当なもの判断している。	3.2
8 財 務	8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	平成20年看護学科設置により現在の5学科体制になりましたが、学生募集も定員確保の状態が続いて財務基盤は安定しており、この状態を続けるべく教職員一同努力を続けていく。	4.0
	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	毎期、大きな狂いが生じておらず、妥当と判断する。	4.0
	8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	毎期、適正な会計監査を行っている。	4.0
	8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	公開資料は事務室に常備しており申請により閲覧に供している。	4.0
9 法 令 等 の 遵 守	9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令順守の精神のもと適正に厳格に運営している。	4.0
	9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護法のもと、在校生・説明会参加者等の情報が流出しないよう万全の注意をしており、より強固にして行く。	4.0
	9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	自己評価を厳格に行い、常に改善点はないか注意している。	3.2
	9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか	自校ウェブサイト上で閲覧できる。	3.6
10 社 会 貢 献	10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	奈良県の理学・作業療法士会、介護福祉士会及び言語聴覚士会の研究会の利用に供している。	3.0
	10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	高齢者クラブへの訪問・地域清掃等、各学科毎に活動していますが、より奨励・支援していきたい。	2.7
11 交 流	11-1 グローバル人材の育成に向けた国際交流などの取り組みを行っているか	作業療法学科・介護福祉学科の海外研修及び海外からの講師講演(不定期)	2.7